

報道関係各位

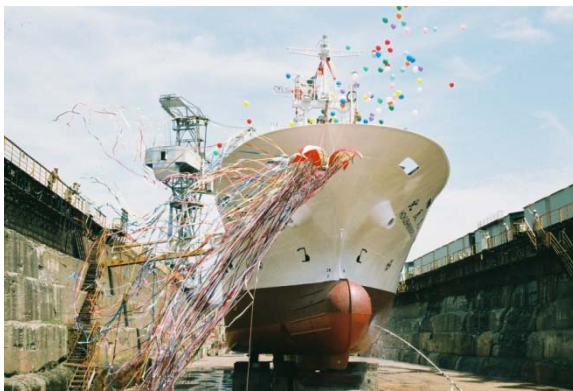
平成27年1月30日

北辰丸竣工記念 道総研セミナー 「北海道の海を科学する試験調査船」の開催

道総研では、3隻の試験調査船により北海道周辺の水産資源や海洋環境に関する調査研究を行っています。

平成26年11月に釧路を拠点として活動する「北辰丸」の第3代調査船が完成したことを記念して、試験調査船の歴史や活動、研究成果等を紹介するセミナーを開催します。

普段なかなか見ることのできない、北海道漁業の縁の下の力持ち「試験調査船」の様々な活動の様子を、写真や動画も交えながらご紹介します。



○ 日時 平成27年2月14日(土) 13:10~15:30 (12:30開場)

○ 場所 北海道立道民活動センター かでる2・7 8階 820研修室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

○ 主催 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構(略称:道総研)

○ 後援 北海道、札幌市、札幌市教育委員会

○ 次第 ※各講演の詳細は、別添のちらしをご覧ください。

- ・開会挨拶 理事長 丹保 憲仁
- ・講演1「三つの海を調べる三隻の試験調査船」 釧路水産試験場 主査 板谷 和彦
- ・講演2「新北辰丸のみどころ!~最新の調査機器~」 釧路水産試験場 主査 佐藤 充
- ・講演3「見えない海底の状況を音で調べる ~地質研究所と水産試験場の連携と今後の可能性~」
地質研究所 主査 内田 康人

○ 報道各社へのお願い

- ・事前PRと当日の取材に特段のご配慮をお願いします。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 連携推進部 清水・森安
〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目 北海道総合研究プラザ
電話 011-747-2804 (平日8:45~17:30 土・日・祝はお休みです)
Fax 011-747-0211
E-mail hq-entry@hro.or.jp URL <http://www.hro.or.jp>

※北海道庁道政記者クラブ及び北海道経済記者クラブにお知らせしています。

北辰丸竣工記念 道総研セミナー 北海道の海を科学する試験調査船

2015年2月14日(土)
13:10 ~ 15:30

北海道立道民活動センター
かでの2・7 8階 820 研修室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

ふだん人目に触れることは少ないけれど
北海道漁業の振興に欠かせない縁の下の力持ち
道総研が所有する試験調査船の活躍をご紹介します

- 三つの海を調べる三隻の試験調査船
- 新北辰丸のみどころ! ~最新の調査機器~
- 見えない海底の状況を音で調べる
~地質研究所と水産試験場の連携と今後の可能性~



参加無料 定員120名
(事前申し込みが必要です
申し込み方法は裏面をご覧ください)



北辰丸竣工記念 道総研セミナー 北海道の海を科学する試験調査船

開催概要

会場：北海道立道民活動センター かでる2・7 8階 820 研修室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

日時：2015年2月14日(土) 13:10~15:30

主催：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 (道総研)

道民カレッジ連携講座 (ほっかいどう学/認定単位2単位)

道総研では、3隻の試験調査船 北辰丸・北洋丸・金星丸により、北海道周辺の水産資源や海洋環境に関する調査研究を行っています。

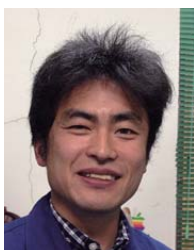
この度、釧路を拠点として活動する第三代「北辰丸」の完成を記念して、試験調査船の歴史や活動、研究成果等を紹介するセミナーを開催します。

普段は見ることのできない試験調査船の様々な活動の様子を、写真や動画も交えながらご紹介します。皆様のご参加をお待ちしています。

セミナープログラム

12:30 開場

13:10 開会挨拶 道総研 理事長 丹保 憲仁



講演1 三つの海を調べる三隻の試験調査船 【釧路水産試験場 板谷 和彦】

北海道は、日本海・太平洋・オホーツク海に囲まれ、スケトウダラやホッケといった底魚類・サンマ・マイワシ・サバ類・スルメイカなど、豊富な水産資源が分布・回遊する日本最大の水産基地です。

本講演では、水産試験場における試験調査船の歴史や、現在配備している三隻の試験調査船を紹介するとともに、海洋環境のモニタリングや魚種の分布・回遊に合わせて行う資源調査など、試験調査船の活動についてご紹介します。



講演2 新北辰丸のみどころ!~最新の調査機器~ 【釧路水産試験場 佐藤 充】

新北辰丸では、より速く、広域に、魚の資源状態や海洋環境を調査することができるようになりました。エンジン出力は、従来の1300馬力から2000馬力に高まり、全周ソナーや計量魚群探知機、多層式超音波流速計など、最新機器も装備されています。

本講演では、新北辰丸で新たに実施できるようになったイワシ・サンマの表層トロール調査や、充実・効率化する調査等をご紹介します。

14:40~14:55 休憩(試験調査船に関連した展示コーナー)



講演3 見えない海底の状況を音で調べる ~地質研究所と水産試験場の連携と今後の可能性~ 【地質研究所 内田康人】

海の中は、神秘の世界です。ダイビングができるような浅瀬の海では、海中の美しい光景を見ることができますが、海の中は本当は光が通りにくいので、深い海には暗黒の世界が広がっています。このため、海底の様子を「目」で見るとは困難ですが、代わりに「音」を使って、海底の凹凸や地層などを調べる方法が存在します。

本講演では、北海道沿岸の海底の状況を音を使って航空写真のように撮影した様子をご紹介します。地質研究所と水産試験場の連携により新たな視点から得られた成果もご紹介します。

15:30 閉会

参加申し込み方法

下記申込先に住所、氏名、年齢、職業、何でこのセミナーをお知りになったかをメール、電話またはFAXにてご連絡ください。

申し込み締め切り：2月6日(金)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 連携推進部
(北海道札幌市北区北19条西11丁目)

先着順(定員120名)
空席がある場合当日申し込みも受け付けます

電話 011-747-2804
ファックス 011-747-0211
メール hq-entry@hro.or.jp